

## 令和元年度 第4回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議開催結果

<日 時> 令和2年2月19日(水) 10時00分～11時20分

<場 所> 総合福祉センター4階 402号室

<出席者> 委員及び千歳市・事務局 計25名

【委員】20名(別紙名簿のとおり)

荒会長、青木副会長、森委員、横山(史)委員、青山委員、益山委員、伊東委員、佐藤(義)委員、菊池委員、大村委員、佐藤(貞)委員、川北委員、斎藤委員、五東委員、中川委員、下川部委員、山崎委員、森本委員、田口委員、富永委員

欠席(6名)

古田委員、柳田委員、宮下委員、岡田委員、清水委員、奥貫委員

【市及び事務局】5名

(保健福祉部) 佐藤保健福祉部次長、甲木障がい福祉係長

(事務局) 事務局長：新谷障がい者支援課長

事務局次長：千歳市障がい者総合支援センター 横山センター長

佐藤自立支援係長

<配布資料(別添のとおり)>

(1) 千歳市障がい者地域自立支援協議会各部会活動報告(事前配布資料)

<次 第>

1 開会

2 会長あいさつ

突然の雪で足元の悪い中、お集まりいただき感謝申し上げます。

さて、連日の報道のとおり、国内でも新型コロナウイルスの感染者が複数確認されており、北海道においても2人目の感染者が出ているところである。この感染症の影響を受けて、全国各地で催し物の中止や延期の判断がなされており、今月21日から開催が予定されていた「2020年第7回スペシャルオリンピックス冬季ナショナルゲーム・北海道」も中止が決定となった。この大会は、2021年にスウェーデンで開催されるスペシャルオリンピックス冬季世界大会への日本選手団選考を兼ねた大会で、全国から650人の方が参加される予定であった。私自身も開催を楽しみにしていたが、感染リスクを考慮してのものであり、感染拡大の一日でも早い収束を祈るばかりである。

早いもので、第5期千歳市障がい福祉計画の計画期間も残すところ1年余りとなった。今計画期間中に地域生活支援拠点の整備が求められているが、全国的に整備が進んでいるとは言い難い状況である。当該拠点整備については、厚生労働省より第4期計画の時点で示され、第5期計画に繰り越されているものである。全国的な進捗状況は順調とはいえないが、さらに第6期計画に

繰り越すのではなく、第6期の基本指針においては、第5期障がい福祉計画期間に目標が概ね達成されるという前提に立ちつつも、各市町村又は各圏域に1つ以上の地域生活支援拠点等を整備し、地域生活支援拠点等における機能の充実・強化に係る内容とする方向で議論が進んでいるようである。当該拠点の整備は、障がいの重度化や障害のある方の高齢化に伴う対応として、地域で安心して暮らしていただくために必要な取組であり、既存の社会資源を有効に活用するとともに、足りない機能を補いながら体制を整えていかなければならないことから、委員各位と課題を共有し、協力をいただきながら取組を進めていきたい。

### 3 議題

#### (1) 千歳市障がい者地域自立支援協議会各部会報告

相談支援部会(奥貫部会長欠席のため横山事務局次長から報告)

前回の定例会議以降は部会としては11月と1月に2回開催しており、その間に「障がい福祉勉強会」を1回開催した。

11月の部会では、先ほど会長からのお話にもあったが、地域生活支援拠点の整備に向け、拠点整備で求められる5つの機能(相談、体験の機会・場、緊急時の受入れ・対応、専門性、地域の体制づくり)ごとに意見交換を行った。今後も5つの機能について話し合う機会を設け、関連する事業所に呼び掛けてさらに議論を深めたいと考えている。

次に、障がい福祉勉強会についてだが、12月6日に「障がい者の暮らしを支える支援について学ぼう」と題し、障がい者が利用できる居住系サービスに関するサービス体系の講義、居住系サービス事業所2事業所からの実践報告、グループワークの3部構成で開催した。38名の参加があった。

1月に開催した部会には、勉強会の振り返りと新規事業所についての情報共有を図ったところである。

#### 【質疑等】

##### < A 委員 >

厚労省で「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」が開催されており、その中で「断らない相談支援」の在り方が議論されている。顕在化する「8050問題」などに対応していくことが狙いで、今後制度化が図られるものと思われるが、相談支援事業所の現状を伺いたい。

##### < 横山事務局次長 >

2つの相談支援事業所では市からの委託を受けて基本相談(よろず相談)を行っており、基本的には断らない対応をとっている。必ずしも解決が図れるものではないが、相談内容に応じて適切な関係事業所等につないでいるところである。

こども部会(田口部会長)

12月に開催した部会の内容と、1月11日に実施したレッツスマイル冬企画の実施概要について報告する。

まず、12月に開催した部会では、レッツスマイル冬企画の最終確認のほか、11月30日に開催した合同説明会の振り返り、事業所の空き情報などの情報共有を図った。特に、合同説明会については、相談件数は多くはなかったが、「パンフレットでは伝わりづらい部分について、事業所の特色を個別に紹介することができてよかった」などの感想があった。

次に、レッツスマイル冬企画についてだが、今年度は札幌市にある「滝野すずらん丘陵公園スノーワールド」で雪遊びを行った。参加者は14名で、けが等なく無事に終了することができた。参加者アンケートの結果は好評で、今後も同企画を継続していきたい。

はたらく部会(下川部部会長)

まず、11月30日に開催した合同説明会について報告する。

総合福祉センター4階(402号室、403号室、エレベーターホール)を会場とし、10時から15時までの間で開催した。来場者数は去年の56名に対し、ほぼ倍増の111名となった。事前周知の強化を図ったことなどが要因と考えられる。来場者アンケートの結果は概ね好評であり、説明会全般の感想については、「とてもよかった(53%)」、「よかった(40%)」と非常に高い評価が得られたところである。「丁寧に説明してくれてよかった」、「直接話を聞ける機会はまりないので、非常に良い催しである」、「今後の選択肢が広がった」などの回答もあった。

次に、1月17日に開催した部会についてであるが、合同説明会の振り返りのほか、地域課題についての意見交換を行った。地域課題の一つとして、就労後の相談窓口の在り方が話題となり、就労している場合、平日は仕事があることから、就労相談のニーズは土日になることが想定されるが、土日にリアルタイムで相談できる場所がないという意見があった。

## 【質疑等】

< B委員 >

土日における就労相談の対応は必要なものだと考えるが、部会の中で解決策や代替策などの検討は行ったのか。

< 下川部部会長 >

課題の共有にとどまっており、具体的な対応策の検討には至っていない。

< 横山センター長(事務局次長) >

補足させていただきたい。市内2つの相談支援事業所では就労後の相談対応も行っている。

2事業所ともに24時間365日体制で相談対応を行っており、意見交換の中でそのような課題が挙げられたことは、当事業所の周知不足が原因であると反省している。今後は、さらなる周知徹底を図り、より多くの方に相談いただけるよう努めていきたい。

地域生活部会(岡田部会長欠席のため横山事務局次長から報告)

12月3日に開催した部会の内容について報告する。まず、勉強会「災害時における自助・共助について」(10月6日開催)の振り返りを行った。災害対応については、地域課題の一つであり、今後も9月6日前後で開催していくこととし、より多くの当事者・関係事業所が参加できるようにしていきたいと考えている。具体的な内容は新年度の事業となるので、今後検討していくこととしている。

次に、地域課題の掘り起こしとして、2月13日に訪問看護、生活介護などの居宅系の事業所の職員から話を聞く会の開催を予定していたが諸般の事情で延期した。あらためて3月19日に開催する。

差別解消・虐待防止専門部会(青木部会長)

当部会単独では初開催となった研修会の結果概要について報告する。

2月5日に総合福祉センターで開催した。テーマは「これって虐待? 支援者情報交換会」とし、19機関27名の参加のもと、千歳市における障がい者虐待の現状に関する説明とグループワーク、さらに、石狩振興局から地域福祉担当主査を講師に迎え、北海道における障がい者虐待の現状について実例を交えながらの講義という3本立てで実施した。参加者アンケートの結果は、「参考になった」が8割を超えており、「また参加したい」との回答は9割を超えた。虐待を未然に防ぐため、今後も同様の研修会を開催していきたい。

## 【質疑等】

< C 委員 >

専門部会の名称には「差別解消」という表現もある。差別に関する相談実績はどのようになっているのか。

< 佐藤事務局次長 >

昨年度及び今年度も現時点までで差別に関する相談実績はない。

< C 委員 >

相談窓口がわからないことによるものとも捉えられるが。

< 佐藤事務局次長 >

市ホームページ等で障害者差別解消法の周知を行っているが、障がい当事者においても同法の認知度は決して高くないようである。法の周知と合わせて相談窓口についても周知の在り方を検討していきたい。

手話言語条例推進専門部会(佐藤(義)部会長)

11月1日に部会を開催した。

今回の部会では、手話言語条例推進委員会(手話関係団体で共同開催)の概要について意見

交換を行った。

このほか、ろうあ者に対する相談支援の在り方が話題となった。ろうあ者の中には困ったときにどこに相談すればいいのかわからない人がおり、さらには同じろうあ者にしか相談したくないという人もいる。ろうあ者相談員の設置も有効な手段であるとの意見があったが、今後の課題として共有し、引き続き部会で意見交換していくこととしている。

#### 【質疑等】

##### < D 委員 >

ろうあ者の困りごとについては、聴力障害者協会や手話関係団体が相談を受けることもあるかと思うが、ろうあ者相談員の設置については意義のある問題提起であると思う。

##### < 佐藤(義)部会長 >

相談支援事業所を利用する場合、手話通訳者を介しての相談となる。これはやむを得ないことであるが、今回の意見は、道内でもろうあ者相談員を設置している市がいくつかあるという状況を踏まえ、気軽に直接意思疎通を図りたいという趣旨である。相談支援事業所に手話ができる相談員を配置してもらおうなどの方法もあると思うので、部会の中で意見交換を図っていききたい。

##### 進路連絡会議（横山事務局次長）

11月25日に今年度2回目の進路連絡会議を開催した。令和元年度卒業生の進路状況の確認、在校生の進路希望動向の情報共有を図った。また、情報交換の中では、不登校に関する対応が話題となったところである。小中学校では放課後等児童デイサービスと連携し登校につなげていった事例や、高等支援学校では出席日数が足りない場合でも、本人及び家族の意向を受けて卒業を認めるケースがあることなどの情報交換を行った。

#### 【質疑等】

##### < E 委員 >

不登校の対応について、高等支援学校の場合は義務教育ではないという点があるが、出席日数が不足する場合は、家庭での学習や夜間の家庭訪問などで補足的な授業を行い、卒業に向けた対応を取っていることを補足させていただく。

## 4 閉会

令和元年度第4回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議 出席委員名簿

任期：令和2年10月28日まで

選考区分		所属機関・団体等	委員役職・氏名	区分補足	出欠		
(1) 公募	1		森 勝 子	障がい者家族	出席		
	2		古 田 聖	障がい当事者	欠席		
	3		横 山 史 紀	一般市民	出席		
(2) 福祉、保健、医療、雇用、教育等に知識及び経験を有する者	4	千歳公共職業安定所	上席職業指導官	青山 新 吾	雇用・労働行政機関職員	出席	
	5	北海道石狩振興局保健環境部 千歳地域保健室健康推進課	保健係長	柳 田 基 貴	保健・医療行政機関職員	欠席	
	6	千歳病院	精神保健福祉士	益 山 桂 太 郎	医療機関職員	出席	
	7	社会福祉法人 千歳いずみ学園	総合施設長	荒 洋 一	障害者支援施設役員	出席	
(3) ア) 関係機関及び団体等の代表者又は推薦を受けた者障がい者又は障がい児の家族団体又は支援団体等	8	千歳身体障害者福祉協会	会長	伊 東 ミ ッ 子	身体障がい当事者	出席	
	9	千歳聴力障害者協会	会長	佐 藤 義 典	聴力障がい当事者団体	出席	
	10	千歳視覚障害者福祉協会	会長	菊 池 悦 子	視覚障がい当事者団体	出席	
	11	千歳市肢体不自由児者父母の会	会長	岡 田 美 智 子	身体障がい者家族	欠席	
	12	千歳市手をつなぐ育成会	会長	青 木 繁 雄	知的障がい者家族	出席	
	13	千歳市つくし会	会員	大 村 徳 子	精神障がい者家族	出席	
	イ) 福祉、保健、医療、雇用、教育等に関する関係機関又は団体等	14	千歳市民生委員児童委員連絡協議会	会長	佐 藤 貞	地域福祉団体	出席
		15	千歳市社会福祉協議会	専従通訳者	川 北 美 由 紀	地域福祉団体	出席
		16	千歳商工会議所	事務局長	宮 下 明	経済団体	欠席
		17	北海道千歳高等支援学校	教諭	斎 藤 芳 朗	高等支援学校	出席
		18	千歳市立北進小中学校 (相談支援・地域連携部)	教諭	五 東 康	特別支援学級	出席
		19	北海道南幌養護学校	教諭	中 川 道 博	特別支援学校	出席
		20	就労推進室やませみ	就労推進員	下 川 部 志 穂	就労推進員	出席
ウ) 障害福祉サービス事業所等	21	生活介護ステーションゆみな/ 支援センターゆみな	所長	清 水 道 代	通所系障がい福祉サービス事業所	欠席	
	22	就労移行支援事業所ゆうび/ 就労継続支援事業所ゆうび	所長	山 崎 千 尋	就労系障害福祉サービス事業所	出席	
	23	青葉の杜 / 青葉の郷	施設長	森 本 洋 行	G H ・ C H、自立訓練事業所	出席	
	24	サポートセンターエブリ	所長	田 口 幹 子	移動支援・日中一時支援事業所	出席	
エ) 相談支援事業所等	25	千歳地域生活支援センター	センター長	奥 貫 あ い 子	千歳市委託相談支援事業所	欠席	
	26	千歳市地域包括支援センター	北区地域包括支援センター長	富 永 壮	介護保険サービス	出席	

# 令和元年度 第4回千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議

日時：令和2年2月19日(水) 10:00～

場所：総合福祉センター 4階 402号室

## <次 第>

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 題

#### (1) 千歳市障がい者地域自立支援協議会 各部会等活動報告

相談支援部会

こども部会

はたらく部会

地域生活部会

差別解消・虐待防止専門部会

手話言語条例推進専門部会

進路連絡会議

### 4 その他

### 5 閉 会

令和元年度第4回  
千歳市障がい者地域自立支援協議会定例会議  
資料

3 議 題

(1) 千歳市障がい者地域自立支援協議会 各部会等活動報告

相談支援部会	P 1 ~ P 5
こども部会	P 6 ~ P 9
はたらく部会	P 10 ~ P 16
地域生活部会	P 17
差別解消・虐待防止専門部会	P 18 ~ P 20
手話言語条例推進専門部会	P 21
進路連絡会議	P 22



令和元年度 第7回 相談支援部会 報告	
日 時	令和元年 11 月 27 日(水) 16:00～17:15
場 所	千歳市しあわせサポートセンター 会議室
参 加 者	千歳地域生活支援センター(奥貫センター長(部会長))、千歳こぶしくリニック(松田相談員)、障がい者支援課(小島係長)、こども療育課(宮坂相談員)、夢民(阿部氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(横山センター長・吉田相談員)
要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千歳市から</li> <li>2. 地域生活支援拠点等に関する意見交換</li> <li>3. 障がい福祉勉強会について</li> <li>4. 地域課題(情報交換)について</li> <li>5. その他</li> </ol>
会議内容	<p><b>1. 千歳市から(定例会報告ほか)</b> 主に各部会の活動報告が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援部会～勉強会の報告や地域課題について</li> <li>・こども部会～座談会の開催と報告</li> <li>・はたらく部会～視察研修の報告と合同説明会のお知らせ</li> <li>・地域生活部会～10月に研修会を開催し、災害のドキュメンタリー映画の上映、災害時の対応について話し合われた。</li> <li>・手話言語条例推進部会～今後どのように進めていけばよいかの検討</li> </ul> <p>その他、委員から成年後見支援センターについて質疑があった。</p> <p><b>2. 地域生活支援拠点等に関する意見交換</b> 地域生活支援拠点等に必要な5つの機能ごとに、現状と課題を話し合った。</p> <p>相談～家族や事業所が抱え込んでしまったがゆえに状況が悪化してから相談支援事業所に相談が入る困難ケースが多いため、適切なタイミングで迅速に対応が行われる必要がある。児童の場合は健診時につながることが多い。</p> <p>現状として、どこに相談していいかわからない場合、まず市役所に相談がいくことが多い。市・相談支援事業所含めた各機関それぞれの役割の明確化により、相談先もわかりやすくなるのではないかと。現在の委託相談支援事業所の機能の向上のために基幹相談支援センターの整備の検討も必要となってくるのではないかと。</p> <p>体験の機会・場～入院中の方が退院後の練習として行う等、支給決定前に実際にサービスを体験する場として、空き部屋の確保・有効活用のために必要な方策を考え準備を進めていく必要がある。</p> <p>緊急時の受入れ・対応～虐待案件に関しては、当初3つの施設と受入れに関して取り決めを行っており、空きがあれば可能となっている。その他、1人で過ごすのが不安で誰かの見守りが必要と思われる方の一時受入れについて、個人情報の扱いや職員配置、食事の用意、消防法上の手続きの確認等準備・検討すべきことは様々ある。</p> <p>その他、人員配置に関しては、登録制にすることで特性に応じた対応が可能となるのではないかと。</p>

専門性～研修の開催等により、専門的な知識・技術を持つ人材を養成することで、人材不足解消を目指していく。千歳市手話言語条例の制定に伴い手話講座への参加者が増加しているとの話を聞く。障がい福祉勉強会を相談支援部会から切り離して、各種勉強会や研修会の事務局として研修部会を立ち上げるのはどうか。

地域の体制づくり～様々な分野の機関が関わる必要があり、各部会同士の横の連携・情報共有を行っていくことが重要である。

今後、5つのそれぞれの機能について話し合う機会を作り、関連する事業所へ呼びかけてみる。その他、例えば実際の困難事例をあげて、足りない部分の把握や改善のために必要なことを話し合うことでより具体的に考えることができるのではないか。

### 3. 障がい福祉勉強会について

(1) テーマを「障がい者の暮らしを支える支援について」として、市内の各事業所へ案内をしている。申込みの締め切りは12月2日で、本日現在で11機関、20名の申込みがある。参加者状況の傾向としては、居宅介護事業所や地域包括支援センターからの申込みを多くいただいている。

(2) 講義を千歳市障がい者総合支援センターChip 横山センター長、実践報告を共同生活援助事業所 いずみ寮 開発 氏、訪問看護ステーション わかち愛 田口 氏に依頼している。当日の流れとしては、講義が15～20分程度、実践報告が1例あたり30分程度、残った時間でグループワークを行う予定である。

(3) 講義では、障がいを持つ人ができない部分を助けてもらいながら、地域で自立した生活を送るために様々な支援があるという話をする。

(4) 実践報告では、グループホームで暮らしながら地域で生活を送る障がい者の現状・課題や時代の移り変わりとともに施設入所からグループホーム、アパートでの一人暮らしへと変わった様々な事例について話していただく予定である。また、訪問看護の支援によって利用者が安心して地域生活を継続できていることや身体面だけではない訪問看護の果たす役割等について話していただく。

### 4. 地域課題(情報交換)について

成年後見センターが実際に動き始めた段階でまた話し合っていく。成年後見制度を利用している具体的な事例等あれば、次回以降話し合っていく。

### 5. その他

次回の開催日について、12月の3週目で候補日をお知らせすることにする。参加人数が少ない場合は1月中旬頃に再度設定することとする。

作成者 千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀

令和元年度 第3回 相談支援部会 障がい福祉勉強会 報告	
日 時	令和元年 12月6日(金) 18:00~20:00
場 所	千歳市総合福祉センター 402号室
参 加 者	市内 20 機関 38 名(事務局含む)
要 旨	<p>1. 講義</p> <p>2. 実践報告</p> <p>3. グループワーク</p>
会議内容	<p><b>【テーマ】「障がい者の暮らしを支える支援について学ぼう！」</b></p> <p><b>1. 講義「障がい者の暮らしを支える支援について」</b>  千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀  障がいの有無に関わらず、誰もが望む生活を送ることを求めており、障がいを理由にその実現が妨げられるようなことがあってはならない。障がいを持つ人が望む生活の実現に必要な課題解決のために様々な支援があり、具体的なサービス活用の例などの説明、利用者の目標達成・課題解決に向けて、支援者がその思いに寄り添いながら支援を継続していくことへの意義について話があった。  また、『障がい者が利用できる居住系サービスについて』資料が配布された。</p> <p><b>2. 実践報告</b></p> <p>(1) 共同生活援助事業所 いずみ寮 開発 勲 氏  社会福祉法人千歳いずみ学園のグループホーム開設までの経緯や現在の事業体制について、現在の利用者の生活の様子などを紹介いただいた。</p> <p>(2) 訪問看護ステーション わかち愛 田口 さつき 氏  ステーション開設の経緯や医療・看護と地域で生活する当事者との関わり、看護の範囲を超えて支援を行っているなどの話があった。</p> <p><b>3. グループワーク</b></p> <p>1グループ7、8名の5グループに分かれ、各グループでファシリテーターの進行のもと、自己紹介、講義・実践報告を受けての感想や意見等を出し合い、話し合いを行った。</p> <p>参加者アンケート</p> <p>(1) 講義・実践報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームや訪問看護の実態を知ることができて大変勉強になった。</li> <li>・様々なニーズを持つ方が地域で暮らすためのサービスを利用していることを改めて認識した。</li> <li>・表現の奥に求めているものの本質は何かを見極め、ニーズに対して支援していきたいと感じた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ違った角度から生活の場での支援について語られ、理解が立体的になったように思う。</li> <li>・どんな方でも普通の暮らしができればいいなと思った。</li> <li>・理想の生活・現実の生活が考えられるように、理想の仕事(作業)・現実の仕事(作業)を利用者と一緒に進めていけたらと感じた。</li> <li>・できること、できないことの見極めが大変だと思うが、できる限りのことを行っていきたいと思う。</li> <li>・他のグループホームのお話や事例を聞くことができ、勉強になった。知的障がい者に特化した資格があると聞き、勉強してみたいと思った。</li> </ul> <p>(2)グループワークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な支援機関からの視点での情報交換は、自分にはない考えもあったので、大変参考になった。</li> <li>・時間が短く感想のみになってしまったのが残念。もっと話し合えたら良かった。</li> <li>・それぞれの職種が働く場での苦勞の共有ができた。理想と現実、社会的な規範のバランスの難しさを感じた。いいグループワークだった。</li> <li>・時間もなく、ほぼ自己紹介のみで終わってしまったので、何か方向付けがあっても良かったと思う。</li> <li>・様々な職種・立場の方の率直なお話を聞くことができ良かった。</li> <li>・ゆっくり話が聞けて良かった。</li> <li>・時間枠 15分でちょうどよかった。</li> <li>・グループワークの中で出た「制度のないところでの福祉が本当に必要な支援である」との言葉が心に響いた。</li> </ul> <p>(3)今後取り上げてほしいテーマ等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の親(特に知的障がいを持つ子の親)の気持ちや様子を知りたい。</li> <li>・1つのケースについてグループでの事例検討など。</li> <li>・障がいについての初歩的・基礎的なことが知りたい。</li> <li>・仕事に向き合うにあたってのストレス発散法</li> <li>・利用者との接し方・支援について聞いてみたい。</li> <li>・事例を深めて、地域での生活についての課題などがまとまると良いと思う。</li> <li>・介護と障害の連携の事例</li> <li>・障がい者が単独で地域生活(通院・買い物等)をする際の地域との関わり方。職員が同行することを求められるが、本人は1人で行くことに意義を感じている。</li> </ul>
作成者	千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀

令和元年度 第8回 相談支援部会 報告	
日 時	令和2年1月24日(金) 16:00～17:15
場 所	千歳市しあわせサポートセンター 会議室
参 加 者	千歳地域生活支援センター(奥貫センター長(部会長)・福澤相談員)、西区地域包括支援センター(吉田センター長)、千歳こぶしクリニック(松田相談員)、障がい者支援課(小島係長)、夢民(戸田氏)、千歳市障がい者総合支援センターChip(横山センター長・吉田)
要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千歳市から</li> <li>2. 障がい福祉勉強会について</li> <li>3. 地域課題(情報交換)について</li> <li>4. その他</li> </ol>
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 千歳市から <ul style="list-style-type: none"> <li>2月19日に今年度最後の定例会が開催される旨報告があった。</li> </ul> </li> <li>2. 障がい福祉勉強会について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)12月に行なわれた第3回障がい福祉勉強会のアンケート結果について報告があった。企画チーム内での振り返りの中では、訪問看護事業所からの話で、個別の支援の現状についての話をもう少し聞いたかったとの意見が出たとの報告があった。</li> <li>(2)参加者の傾向から、医療・介護保険分野と障がい分野の連携・情報共有等、参加者のニーズに沿った内容の調整・検討が求められるのではないかとの話があった。</li> <li>(3)次回の開催日程は2月28日(金)、場所は福祉センター402号室に決定となったとの報告があった。また、例年第4回目は相談支援をテーマに寸劇を行っており、今年度も行う予定である。詳細についてはこれから決めていくが、内容としては、サービス利用の流れやアセスメントについて、講義や演習を行い理解を深められるものと考えている。 全体的な流れとしては、寸劇の合間にグループワーク・演習を行い、最後に計画相談支援・サービス利用の流れについての講義を行う予定である。</li> <li>(4)次年度の体制・構成メンバーについて検討しているが、時間の確保が難しく、人手不足等の理由で依頼できる事業所が限られてきているのが現状である。例えば新規事業所含め顔つなぎの意味合いも兼ねて声かけしてみてもいいのではとの意見が出ている。</li> </ul> </li> <li>3. 地域課題(情報交換)について <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)新規事業所についての情報共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラポールハウスチトセ(就労継続支援B型)～遺品整理を主な作業としている。</li> <li>・グループホームの新規開設として4か所の情報が入っている。詳細・情報については今後の部会でも確認していく。また、利用する際には、北海道石狩振興局の許認可の決定されていると確認がとれた段階で支給決定は可能であるとの説明があった。</li> </ul> </li> <li>(2)その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームは今後増えていく見込みではあるが、女性用に関しては不足している状況である。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>4. その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回以降については、今年度のまとめや次年度に向けての話し合いを行う。</li> </ul> </li> </ol>
作 成 者	千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀

令和元年度 第5回 こども部会 報告	
日 時	令和元年 12月20日(金) 10:00~11:30
場 所	千歳市社会福祉協議会 会議室1
参 加 者	サポートセンターエブリ(田口所長(部会長))、障がい者支援事業所ゆうび(寺島氏)、ブンブンハウス(松田氏)、ラブアリス千歳桜木(五月女氏)、児童デイサービスみどり台(浅野氏)、北海道南幌養護学校(中川教諭)、千歳市北進小中学校(板垣氏)、学校教育課(吉見係長)、千歳市障がい者総合支援センターChip(横山センター長(事務局次長)・中村相談員)
要 旨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.レッツスマイル冬企画について</li> <li>2.合同説明会について</li> <li>3.勉強会(支援者向け学校見学会)</li> <li>4.情報提供(課題共有)</li> <li>5.その他</li> </ol>
会 議 内 容	<p><b>1.レッツスマイル冬企画について</b></p> <p>1月11日(土)開催の進捗確認を行った。チラシの配布とボランティアの募集依頼は終了し、12月25日までが参加申込み期間となっている。</p> <p>今後は、12月24日に下見を行い、1月7日、8日10時からマッチング会議、最終確認会議を行う。会議終了後、参加者に最終案内を送付する。</p> <p><b>2.合同説明会について</b></p> <p>11月30日に開催された合同説明会についてアンケートをもとに振り返りを行った。</p> <p>&lt;来場者アンケート内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労、こどものほか、入所、生活介護、居宅、グループホーム等の情報発信として行っていくことも必要と感じた。</li> <li>・福祉センターは対象の方には来場しやすい環境に感じた。</li> <li>・こども部会の入ってすぐのスペースにも入りやすい工夫をすると良かったのでは。</li> <li>・午前中は両方とも賑わっていたが、こども部会の方はお昼を過ぎると人の流れが止まってしまったので、時間を10時~13時と短くしたらどうだろうか？</li> <li>・事業所間の情報交換も有意義だった。次回はより多くの来客を期待したい。</li> <li>・相談件数は2件だったが他事業所の方々と交流ができ良い時間を過ごすことができた。</li> <li>・保護者のニーズや困りごとなども聞いてよかった。</li> <li>・前回より参加者が増え、今度も説明会を続けていきたいと思った。</li> </ul> <p>来場者数 こども部会のみ 合計16件(日中一時・移動支援の相談が多かった)</p> <p>&lt;当日参加部会メンバー アンケート内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の手狭感はあった</li> <li>・相談件数は少なかったが、他事業所との情報交換など今まで望んでいたことができ、療育の方向性について話ができ良かった</li> <li>・他事業所との交流を通して行き詰っていたことについて話ができ、その後少し楽になったように感じ、とてもいい機会になったと思う。</li> <li>・就労系の事業所もあるため、千歳市に限らず恵庭市に住んでいる生徒等配布する範囲を広げても良いかなと思った。</li> <li>・相談内容としては、どのような療育・事業所の特色があるのかという、普段パンフレットで周知をしているようでわかりにくい部分について、直接困りごとの相談を受ける事が出</li> </ul>

来た。どのような特色の事業所かをお伝えしながら他の事業所の紹介もした。

### 3.勉強会(支援者向け学校見学会)

年度当初の計画通り、2月に支援者向けの学校見学会を開催する。北進小中学校・千歳高等支援学校・南幌高等養護学校に依頼し、日程は学校の都合を確認し調整する。詳細が決まり次第、最終的な案内は事務局で行う。

### 4.情報提供(課題共有)

ブンブンハウス...利用者から野球観戦に連れて行って欲しいと話があった。こども部会を通して多くの子どもと一緒に野球観戦に連れて行きたいと思っている。また、日本ハムファイターズのコーディネーターから連絡があり、直接お会いして話を聞くことができた。

保護者・家族と一緒に野球観戦に行くことが難しい子どもが、他にもいるのではないかと相談したところ、まとまった人数であれば優先的にチケットを確保できるという話があった。ニーズがありスタッフ・ボランティアの調整ができれば実現できるのではないか思った。

#### (1)事業所空き情報について(部会開催日情報)

エブリ 日中一時、移動支援共に空き無。

ぱすてる 児童発達、放課後デイ共に空き無。

ライフヘルプ 日中一時：月火水空き有。木応相談。

移動支援：月火金空き有。木土応相談。

ゆうび 日中一時：月水空き有。火木金土応相談。

放課後デイ：月水応相談

ラブアリス千歳桜木 児童発達：木応相談。

放課後等デイ：木応相談。

ラブアリス千歳桜木別館 児童発達：月～金応相談

放課後デイ：月～金応相談。

ちとせくらぶ 児童発達：土日空き有。

放課後デイ：土日空き有。

第二ちとせくらぶ 児童発達：土日応相談。

放課後デイ：土日応相談。

みどり台 児童発達、放課後デイ共に空き無。

千歳市こども通園センター 児童発達、放課後デイ共に応相談。

#### (2)情報提供

学校教育課 1月10日(金)9:15～11:15 北ガス文化ホール中ホールにて「千歳市特別教育研修会」が実施される。二通諭名誉教授に「映画で学ぶ特別支援教育～発達障がい豊かな世界と可能性～」をテーマにご講演いただく。

#### (3)課題

- ・事業所で抱えている困り事として、性に関する部分にいつも行き詰まるため講師を招いての勉強会が必要である。学齢期の子どもに対し性についてどのように話しているか等、支援学校や高等支援学校の先生に手法を教わることが出来れば良いとの意見がある。
- ・情報交換会があった困り事、地域課題も含めて、次年度の部会の取り組む課題として検討していく事になる。

#### (4)次回開催について

2月20日(木)10時～開催する。

作成者 千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀

令和元年度 こども部会 レッツスマイル冬企画 報告	
日 時	令和2年1月11日(土) 8:30~15:00
場 所	目的地: 滝野丘陵すずらん公園スノーワールド 集合・解散: 千歳市総合福祉センター 移動: 福祉バス利用
参 加 者	参加者: 14名(うち家族4名) スタッフ: 7名 ボランティア: 6名(千歳北陽高校2名、文教大学4名) 計27名
要 旨	<p>1. 対象 千歳市在住の障がいのある就学1年前の幼児、小学生、中学生、高校生、その家族でサポート情報の提供の同意をいただける方(家族の参加は任意、本人のみの参加可能)</p> <p>2. 内容 千歳市総合福祉センターから福祉バスを利用し、滝野すずらん公園丘陵公園スノーワールドでチューブそりやちびっこそり滑り、ありの巣トンネルで謎解きクイズラリー、虹の巣ドームでネット遊びをして過ごした。</p> <p>8:00 スタッフ・ボランティア集合 8:30 参加者千歳市総合福祉センター集合(9:00 出発) 10:30 滝野すずらん公園丘陵公園スノーワールド到着 12:00 昼食 13:30 滝野すずらん公園丘陵公園スノーワールド出発 15:00 千歳市総合福祉センター到着 随時解散</p> <p>3. 経費 (1) 収入 参加費 300円×14名 = 4,200円 (2) 支出 参加者及びボランティア弁当代 傷害保険 など</p>
会議内容	<p>1. 実施概要 目的地の滝野すずらん丘陵公園スノーワールドでは、チューブそりやプラスチックそり滑り、ありの巣トンネルで謎解きラリー、室内の虹の巣ドームでネット遊びなどを行い、担当ボランティアや家族・スタッフと楽しく過ごした。参加者にそれぞれ担当ボランティアが付くことによって、室内のネット遊びやゲレンデのそり滑りなど参加者の好みに合わせた時間を過ごすことができた。昼食は施設内の休憩スペースで食事をとった。 今年は雪不足であり通常よりもそりゲレンデのコースは短くなっていたが、限られたスペースで一日楽しく過ごした。スケジュールに関しても滞りなく進み、大きなトラブルや怪我も無く、無事終了した。</p> <p>2. スタッフ、ボランティア感想 (1) 運営や企画、参加しての感想 ・とても楽しかった。 ・子ども一人一人に大人が付くことにより、その子の行きたいところに連れていくことが出来るのがとても良いなと思った。</p>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お小遣いで何か買うことを楽しそうにしていたので、お店で何か買って良かったということ許しているのが良いなと思った。</li> <li>・名前のシールがはがれてしまったので、養生テープだといいのかなと思った。</li> <li>・チューブそりはやったことがなかったので、スピードが速くとても楽しかった。子どもたちも楽しんでた。お母さんも参加していたので、お母さんともたくさんお話ができ楽しく過ごせた。</li> <li>・子どもたちもボランティアも楽しく参加できた。初めての参加で少し心配はあったが、運営の方にサポートしてもらい安心して活動することができた。</li> <li>・子どもも自分もとても楽しめた。夏とはまた違って体を思いっきり動かせたと思う。このボランティアに参加して良かった。</li> <li>・チューブ滑りは本人だけでなくボランティア側も楽しめて良かった。</li> <li>・子どもたちもチューブそりなどで楽しむことができ良い一日を過ごすことができた。</li> <li>・雪遊びも良かったし、天気も良くて最高だった。</li> </ul> <p>(2) 今後の企画案について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水族館</li> <li>・もりもと工場見学</li> <li>・福祉センターでレクリエーション など</li> </ul> <p>(3) 企画委員として参加可能かどうか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加しても良い(興味がある)...6名</li> <li>・むずかしい...2名</li> </ul> <p><b>3. 参加者アンケート集計</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とても良かったと思う。子どももとても楽しみにしていたし、冬ならではの内容で、とても感謝している。</li> <li>・滝野すずらん公園は気になっていたがなかなか自分で行けず、この企画で連れて行ってもらえて冬の雪遊びも出来て本当に嬉しかった。</li> <li>・今年は雪が少なく外で雪遊びが出来なかったので、とても楽しくチューブそりができた。</li> </ul>
作成者	千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀

令和元年度 第4回 はたらく部会 報告	
日 時	令和元年 11月15日(金) 18:00~19:00
場 所	東雲会館 1号室
参 加 者	33名 千歳市役所障がい者支援課(石黒)障がい者総合支援センターChip(横山・新村)千歳地域生活支援センター(今野)ハローワーク千歳(青山)いずみワークセンター(玉井)就労移行支援事業所ゆうび(蔵田)株式会社119インターナショナル(結城)株式会社メビウス(柳沢)ピアハープ(山下)株式会社ひまわりの会(稲船)株式会社帆の風(藤岡)株式会社ウィンドバレー(千葉)株式会社ドン・リースアンドレンタル(佐々木・木暮)就労支援センターOm-Net(牧野)マルハチ急行株式会社福祉事業部サークルエイト(青木)ワンステップ(真鍋)オルポノ(有田)青葉の杜(森本)スリーピース(青能)自立訓練施設蓮げ荘(田本)晴レルモキッチン(福田)千歳わくわくわくファーム(秋本)千歳病院デイケアひかり(澁谷)桂病院デイケアぼぶら(葛西)千歳こぶしくリニック(松田)石狩障がい者就業・生活支援センターのいける(菅原・諏訪)就労推進室やませみ(野田・加藤・下川部)
要 旨	<p><b>1. 協議事項</b></p> <p>(1) 視察研修アンケート結果について</p> <p>(2) 令和元年度福祉サービス事業所合同説明会について</p> <p>タイムスケジュールの確認</p> <p>レイアウト図の確認</p> <p>当日配布書類等について</p> <p>その他</p> <p><b>2. その他連絡事項</b></p> <p>ハローワーク千歳(斎藤)おしごとサポーターのご案内</p>
内 容	<p><b>1. 協議事項</b></p> <p>(1) 第3回はたらく部会未報告だったアンケート結果を報告した。</p> <p>(2) 令和元年11月30日(土)千歳市総合福祉センター4階402・403にて開催する合同説明会実施について最終確認を行った。</p> <p>タイムスケジュールの確認開始</p> <p>10時・終了15時であるが、9時から会場準備が開始し、9時45分から事務連絡等があることや説明会終了は15時とあるが、最後の相談者が終わっていない場合は、その相談案件が終わるまで待機等の留意点を確認した。なお、こども部会(403号室)でシートを張るなどの会場設営等の手伝いが必要であることが挙げられ、確認した。</p> <p>レイアウト図の確認</p> <p>物販を行うところは長テーブル2本。行わないところは1本。また、椅子は4脚あたる。限られたスペースを協力し合いながら、臨機応変に説明する場として活用していただくことをお願いしている。11月30日(金)当日午前中は詩吟教室、午後からは視覚障がい者協会のサウンドボールテニスが行われ、耳</p>

	<p>を澄ませてボールの音を聞く協議の特徴から午後から概ね騒音に気を付けること・エレベーターから401号室までの導線確保を促した。スペースの都合上、収まりきらない点があり、Chip・医療（桂病院・千歳病院・こぶしクリニック）が403号室へ移動になっていることを周知した。403号室のレイアウトについてChip横山氏より説明があり、中央に休憩スペースを配置し、それを囲むように13テーブル置く予定であることを確認した。お子さんの発達を心配されている保護者の皆さん・お子さんがご来場され会場にて迷われている場合は、403号室に促してほしいとのことを確認した。また、児童発達デイ・放課後デイにご興味・ご関心のある方を促してほしいとのことで、確認した。</p> <p>当日配布書類等について</p> <p>当日配布資料として・リーフレット、・事業所リスト、・物品販売リスト・来場者用アンケートがあることを周知した。（物品販売について軽減税率の件はどうか？という話がでたが、各事業所での判断ではないでしょうか？というところに落ち着いた。）</p> <p>その他</p> <p>物品販売を行うにあたり出たごみは各自持ち帰ることを確認した。休憩スペース横ゴミ箱は、やませみが準備し、持ち帰ることを確認している。また、原状復帰にさせていただきようお願いした。パネルを使用する事業所は画びょうもしくはメンディングテープを各自準備してもらうことを確認した。</p> <p>&lt;事務局から提案&gt;</p> <p>今後もこども部会、はたらく部会での合同共催を考えるとある程度スペースが必要となり、北ガス文化ホールが適していると思われる。北ガス文化ホールを確実におさえるためには1年前の予約が必要となる。したがって、11月最終土曜日に日程を定めてはどうか。また、日付を定めることで運営者側・参加者側双方スケジュールが立てやすく、皆さんにとっての利点があるのではないのでしょうか？と提案した。</p> <p>千歳地域の幼稚園・保育園・認定こども園等発表会時期と重なると、駐車場が満車で停められないのではないだろうかとの懸念事案が挙がるも、周辺地域のご協力や公共交通機関での来場を促すことで可能ではないだろうかというところで落ち着いている。</p> <p><b>2. その他連絡事項</b></p> <p>ハローワーク千歳 斎藤氏よりおしごとサポーターのご案内の情報提供がある。</p>
作成者	就労推進室 やませみ 下川部 志穂

令和元年度 千歳市障がい福祉就労事業所合同説明会 報告	
日 時	令和元年 11 月 30 日(土) 10:00~15:00
場 所	総合福祉センター 4 階(402 号室、403 号室、エレベーターホール)
参 加 者	<p>はたらく部会 69 名</p> <p>千歳市障がい者地域自立支援協議会(荒会長)、千歳市障がい者支援課(佐藤係長、石黒)、千歳地域生活支援センター(今野、福澤)、千歳職業安定所(青山、斎藤ほか 1 名)、いずみワークセンター(玉井)、就労支援事業所ゆうび(山崎、藏田、横田、実習生)、(株)119 インターナショナル(結城、平本、石川)、(株)ミナモト(今井、成美)、蓮げ荘(大山、相澤、田本)、(株)メビウス(柳沢)、(株)ワークセンターピアハープ(松浦、山下、宮下ほか 1 名)、(株)ひまわりの会(稲船、上田、村田、永井)、(株)帆の風(藤岡、高橋、阿部)、(株)ウィンドバレー(千葉、岩崎、八木、今井、山本、小島、工藤)、マルハチ急行(株)福祉事業部サークルエイト(青木、三宅)、サポートセンターユリーカ(芦田、鎌田、佐々木)、青葉の杜(森川、鳥越、森本)、スリーピース(青能)、晴レルモキッチン(米澤、福田)、Om - N e t (牧野、毛利)、千歳わくわくわくファーム(佐々木、秋本、高瀬)、千歳こぶしくリニック(松田)、デイケアひかり・リワークデイケア(橋場・菊池)、千歳桂病院(葛西)、(株)ドン・アンドリースレンタル千歳物流センター(佐々木、木暮、木村)、オープンカフェゆみな(畑中)、ワンステップ(真鍋)、就労推進室やませみ(下川部、野田、加藤)</p> <p>子ども部会 14 名(10 事業所)</p>
開 催 内 容	<p>1. 開場時間 10:00~15:00(準備開始は 9:00 から)</p> <p>2. 開催場所 千歳市総合福祉センター 4 階(402.403.エレベーターホール)</p> <p>3. 来場者数 合計 111 名(障がい当事者、家族等)</p> <p>4. 開催結果</p> <p>(1)来場者数について</p> <p>昨年度の来場者数が 56 名であったのに対し、今年度は 111 名となり大幅に増加した。要因としては、開催時期を早めたこと(12 月末 11 月末)、「ちゃんと」への記事掲載など事前周知の強化を図ったこと、開催時間を例年より 1 時間早めたことなどが考えられる。</p> <p>なお、物販の集客が多かったのに対し、説明利用の人数はやや少なかったように感じた。</p> <p>(2)こども部会との共催</p> <p>昨年同様こども部会と共同で開催した。</p> <p>同じフロアで開催したことで、児童関係事業所の見学に来た保護者が就労支援事業所の物販を利用してほかに、保護者から「こういう機関(就労支援)があることを知って安心した」や「作業内容を知れてよかった」などの声があった。</p> <p>(3)アンケート結果(来場者、事業所)について</p> <p>来場者アンケート</p> <p>次年度開催の参考とするため来場者に対しアンケート調査を行った。回答数は 32 件であった。概要としては、「開催時期について」は「今のままでよい」が 8 割近くを占めており、「開催時間について」は「ちょうどよい」が 8 割を超える結果となった。</p> <p>また、「説明会の感想について」は「とてもよかった(53%)」、「よかった(40%)」となっており、非常に高い評価が得られた。</p> <p>アンケート結果の詳細は別紙のとおり。</p> <p>事業所アンケート</p> <p>アンケートの形式は自由記入形式とし、良かった点、改善すべき点などの意見があった。意見等は別紙のとおり。</p> <p>5. その他</p> <p>開催結果については、令和 2 年 1 月 17 日(金)開催の第 4 回はたらく部会にて報告し、改善点などの協議を行いたい。</p>

性別

	回答数	割合
男	9人	28.1%
女	23人	71.9%
計	32人	100.0%

住所

	回答数	割合
市内	24人	75.0%
市外	6人	18.8%
無回答	2人	6.2%
計	32人	100.0%

「市外」は恵庭から

年代

	回答数	割合
10代	3人	9.4%
20代	3人	9.4%
30代	5人	15.6%
40代	17人	53.1%
50代	4人	12.5%
計	32人	100.0%

40代の参加が多く半数以上を占めている。

興味を持った事業所

	回答数	割合
あった	23人	71.9%
なかった	2人	6.2%
その他	4人	12.5%
無回答	3人	9.4%
計	32人	100.0%

「あった」が7割を超えている。

合同説明会の形式について(複数回答)

	回答数	割合
今のままでよい	25人	75.7%
春頃	2人	6.1%
夏頃	3人	9.1%
その他	3人	9.1%
計	33人	100.0%

「今のままで」という回答が多かった。

次回の参加意向

	回答数	割合
参加する	27人	84.4%
参加しない	0人	0.0%
わからない	4人	12.5%
その他	1人	3.1%
計	32人	100.0%

「参加する」との回答が8割を超えている。

参加の種別

	回答数	割合
障がい当事者	14人	43.8%
当事者家族	16人	50.0%
教育関係者	1人	3.1%
医療機関	0人	0.0%
その他	1人	3.1%
計	32人	100.0%

合同説明会を知った媒体(複数回答)

	回答数	割合
ポスター	7人	19.4%
チラシ	14人	38.9%
ちゃんと	7人	19.4%
その他	8人	22.3%
計	36人	100.0%

なお、年齢別には、10～20代の約7割が「ちゃんと広告」で開催を知ったとの結果となり、若年層には「ちゃんと」が有効な媒体であると考えられる。

合同説明会の評価

	回答数	割合
とてもよかった	17人	53.1%
よかった	13人	40.6%
普通	2人	6.3%
よくなかった	0人	0.0%
計	32人	100.0%

「とてもよかった」、「よかった」が合わせて9割を超えており、有意義な説明会であったと評価できる。

合同説明会の時間について

	回答数	割合
ちょうどよい	26人	81.3%
時間を長くしてほしい	0人	0.0%
わからない	5人	15.6%
その他	1人	3.1%
計	32人	100.0%

開催時間を一時間はやめたが、好評であったと思われる。

その他

- ・丁寧に説明してくれた。
- ・直接お話しすることができたので良かった。
- ・今後の選択肢が広がった。

など

事業所アンケート

アンケートの形式は自由記入形式とし、良かった点、改善すべき点などの意見があった。

(良かった点)

- ・会全体的には昨年と比べて来場者も多くてよかった。
- ・当事業所を知って頂く機会をいただきありがとうございました。また、参加させて頂きたいと思えます。いろいろな方の話を聞くことができて大変勉強になりました。
- ・事業所独自に飾りがあったり、ムービーや体験要素を盛り込んだりと工夫があつてよかった。
- ・はじめて参加しましたが他部門の方との交流や情報交換が出来、とても良かったです。
- ・ものすごく大事なイベントですので、周知させる会議を一度やりたいです。宣伝が大きな動きを作りそうです。
- ・開催時期は暑すぎず、寒すぎず良かったと思えます。
- ・会場は少し狭いかと思いましたがぎゅっとまとまっていたよかったですと思う。

(改善点)

- 【会場について】
- ・来年の合同説明会はもっと広い場所でやってほしいと思えます。
  - ・説明ブースと販売は別にやってほしい。
  - ・会場の配置で飲食と説明の机が同じことで説明時、お客様の気が散ってしまう場面があった。また、販売で混雑していて、話をしたそうだけど入りこめずにいた方もいたようだ。
  - ・物販と事業所説明の同一個所の設置だとスペース的に販売メインとなり、ゆっくり説明ができる雰囲気が見えなかった。物販をする、しないで違いの差が気になった。
  - ・就労事業所の会場が狭かった。子ども部会、医療部門の会場は比較的広かった印象。車いすの方がどこかに立ち寄ると通路が塞がれてしまいすれ違えない。
  - ・児童のところは全体的に寂しい感じがしたのもう少し子どもが入りやすいように遊ぶスペースを設置したり、POPを作ったりして楽しい感じにしても良いかと思えます。
  - ・エレベーターが開いてすぐにブースがある圧迫感と部屋に入ったときにみなさんの視線は気になったと話していました。
  - ・受付の位置が分かりづらかったかもしれない。入場者からは視界に入りづらく気づかずに会場に直接来る方がいた。
  - ・事業所名、場所、事業所形態等さがしづらさがあつた。
  - ・休憩スペースに「休憩所」などの看板があつたらわかりやすいと思えます。
- 【運営面について】
- ・配布資料の中身について確認せずに事業所の場所、内容確認に戸惑っている方がいた。
  - ・会場入り口で入りづらそうにする方。どこに何があるか困っている様子の方がいた。
  - ・朝の段取りする時間が短く、準備する前に来場者が来てしまった。
  - ・事務連絡に関して、集合の号令もなく、すぐはじまってしまったので事務連絡を途中から聞く人もいたのでは？ 集合するときに物品販売する事業所が多くの金銭をブースに置いているのでその場を離れての集合は防犯上よくないと思う。
  - ・最初の始まりの説明について、どこ集まるというのをはっきりさせてほしかった。開始の挨拶が急に始まり周辺に集まっていたが全く声が聞こえなかった。
  - ・就労に関する説明を聞きにくるという部分は人が少なく感じました。
  - ・物販色が強く出てしまっている感じがしました。
- 【その他】
- ・会場内撤収後、そのまま解散していいのかどうか分からないので、次回から順次帰っていいのか終了の挨拶等の後に帰るのか決めてほしい。

作成者

就労推進室 やませみ 下川部 志穂

令和元年度 第5回 はたらく部会 報告	
日 時	令和2年1月17日(金) 18:00~19:00
場 所	東雲会館 1号室
参 加 者	26名 千歳市障がい者支援課(石黒)千歳市障がい者総合支援センター-Chip(新村)千歳地域生活支援センターせらび(今野)いずみワークセンター(玉井)株式会社119インターショール(結城)株式会社ミナモト(今井)株式会社メビウス(柳沢)株式会社ワークセンターピアハープ(猿山)株式会社帆の風(藤岡)株式会社ウィンドバレー(千葉)株式会社ドン・リースアンドレンタル千歳物流センター(佐々木)就労支援センターOm-Net(牧野)サポートセンターユリーカ(芦田)青葉の杜(森本)医療法人資生会CafeLeaf(田本)晴レルモキッチン(米澤)千歳わくわくわファーム(秋本)医療法人資生会千歳病院デイケアひかり(橋場)千歳こぶしくリニック(松田)石狩障がい者就業・生活支援センターのいける(里見・諏訪)千歳高等支援学校(斎藤・神上)オルポノ(有田・苅又)就労推進室やませみ(野田・加藤・下川部)
要 旨	<p><b>1. 協議事項</b></p> <p>(1) 令和元年福祉サービス事業所合同説明会 結果・報告</p> <p>(2) 地域課題(相談業務について 就労した方の窓口は?)</p> <p><b>2. その他連絡事項</b></p> <p>・就労推進室やませみ主催 企業セミナーのお知らせ</p>
内 容	<p><b>1. 協議事項</b></p> <p>(1) 令和元年福祉サービス事業所合同説明会 結果・報告 報告書は別紙のとおり。</p> <p>(2) 地域課題(相談業務について 就労した方の窓口は?等) 相談業務について あるB型事業所では、セルフプランが3/4を占めており、相談支援事業所を利用しているケースが1/4となっている。 利用計画作成ができる事業所が千歳市には2か所のみであり、利用計画作成が追いついていない状況について「部会で取り上げるべきではないだろうか」、「利用計画を大切にすべきではないだろうか」などの意見があった。</p> <p>就労された方の窓口は? そもそも障がい者の方が就労されたとき相談窓口はどこなのか?という疑問があがった。障がい者が就労し、就労相談したいタイミングが土日の場合が多くリアルタイムで相談する場所がないという現状である。</p> <p>福祉サービス事業所の悩み 福祉サービス事業所の悩みとして、「セルフプランの場合は、対象者の生活状況や背景がわかりにくいいため、正直、雇い入れに勇気がいる。」、「相談事業所が増えたら嬉しい。」が挙げられている。</p>

	<p>潜在的な困った人      自らが困っていることを表現できる人は良いが、困っていることを表現できない人がたくさんいるかもしれないとの意見が挙げられた。</p> <p>ひきこもりと障がい者雇用について      引きこもりが現状の問題となっているがそこに行きつくためには高校から、社会人というルールにのれずにくじけることがあるのかもしれない。      この課題に対して、積極的に合同説明会を周知すること、くじけないために就労移行支援や社会のルールなど様々な情報を伝える必要がある。      その話の流れで、発達障がいのグレーゾーンといわれる人を見受けられるが、仕事をする上で何とかなるが、もやもやしている人がいるのではないか。企業側、事業所側が気軽に相談できる場所ができればいい街になるのでは？との意見が出された。</p> <p><b>2. その他連絡事項</b>      ・就労推進室やませみ主催 企業セミナーのお知らせ</p>
<p>作 成 者</p>	<p>就労推進室 やませみ 下川部 志穂</p>



令和元年度 第4回 地域生活部会 報告	
日 時	令和元年 12月3日(火) 13:30~15:30
場 所	めいぷるサロンしろっぷ
参 加 者	千歳市肢体不自由児者父母の会(岡田会長(部会長))、支援センターゆみな(清水所長)、ふるた たから事務所(古田委員)、千歳地域生活支援センター(奥貫センター長)、千歳市障がい者支援 課(佐藤係長)、千歳市障がい者総合支援センター(横山・新村)
要 旨	<p>1. 今後の活動について</p> <p>2. 情報共有(地域で生活している方の情報)</p> <p>3. その他</p>
会議内容	<p>1. 今後の活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の活動について具体的内容の検討を行う。 開催した勉強会について、もう少し幅広く来ていただける機会にしてはどうかとの意見があり、北ガス文化ホールでの開催について意見が出た。 市内の関係者が中心であれば、福祉センターの402号室も可能であり、映画上映をするのであれば北ガス文化ホールが適しているとの意見が出た。 来年は、9月6日前後で開催。映画120分+意見を聞く方向で検討。次年度具体的内容について話し合うことになった。 また、別の機会で、座敷牢に幽閉された精神病患者を救おうとして、日本の精神医療の夜明けを描いた一映画「夜明け前」(同じく「きょうされん製作映画」)を関係者で観るのがいいのではないかと意見もあった。</li> </ul> <p>2. 情報共有(地域で生活されている方の情報)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害後、どんな対策をしたかについて 事業者聞くのが良いのではないか。訪問看護、生活介護・グループホーム事業所職員から、聞くのが良いのではないか。 その際には、テーマをいくつか絞ると良い。守秘義務に配慮する。土日は業務で参加人数は少ないのではないかと意見が出た。</li> <li>・「どんなことに課題があって、どんなことに困っているか」について 関係機関・家族・本人から話を聞いていく。 高齢化、支援を受けていない方が支援につながる方法。金銭管理・成年後見等、関係機関同士の連携について検討していく。</li> <li>・初めの取り組みとして家族、本人の話を聞きたい。 本人・家族から話を聞いている事業者から情報収集し、その後直接本人・家族から話を聞くのが良いのではないか。</li> </ul> <p>3. その他</p> <p>次回 2月13日(木) 18時~20時 社協2階 会議室 事業者から話を聞く会 テーマ「当事者・家族の困りごと」 開催予定</p>
作 成 者	千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀

令和元年度 差別解消・虐待防止専門部会研修会 報告																																					
日 時	令和2年2月5日(水) 14:30~16:30																																				
場 所	総合福祉センター4階 402号室																																				
参加者	市内19機関27名(事務局含む)																																				
要 旨	<p><b>1.千歳市における障がい者虐待の現状について</b></p> <p><b>2.グループワーク</b></p> <p><b>3.グループワークの総括及び北海道における障がい者虐待の現状について</b></p>																																				
開催内容	<p><b>1.千歳市における障がい者虐待の現状について</b></p> <p>障がい者虐待に関する千歳市の体制や当部会の概要、平成30年度における障がい者虐待の通報件数などについて、千歳市保健福祉部障がい者支援課 石黒が報告を行った。</p> <p>具体的な内容としては、平成24年10月1日に障害者虐待防止法が施行されたことに伴い、障がい者支援課に「千歳市障がい者虐待防止センター」を設置し、365日24時間対応していること、平成30年度には、障がい者虐待に関する通報が3件あったが、いずれも虐待の事実は認められなかったことなどであった。</p> <p><b>2.グループワーク</b></p> <p>参加者をA～Dグループに分けそれぞれのグループで「普段の支援の中で虐待となり得ること」をテーマとしてグループワークを行い、最後にいくつかのグループが話し合った内容を報告した。グループワークの中では、参加者自身が「つい声を荒げてしまった」「利用者を静止するために腕をつかんでしまった」などの話があった。</p> <p><b>3.グループワークの総括及び北海道における障がい者虐待の現状について</b></p> <p>北海道石狩振興局保健環境部 社会福祉課 地域福祉担当 主査 古舘 裕民 氏にグループワークの総括をしていただき、その後、北海道における障がい者虐待の現状について、実際に対応した事例のほかアンガーマネジメントについての説明があった。</p> <p><b>4.アンケート結果について</b></p> <p>次年度以降の参考とするため参加者に対しアンケート調査を行い、回答数は24件であった。概要としては、グループワーク及び講話について「参考になった」が8割以上となっており、今後同様の研修会を開催するとした場合の参加意向については、9割以上が「また参加したい」とのことであったため、今後も継続して開催したい。</p> <p>アンケート結果は次のとおり。</p> <p>(1)性別</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>男</td> <td>女</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>17</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>29.2%</td> <td>70.8%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table> <p>(2)年代</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>20代</td> <td>30代</td> <td>40代</td> <td>50代</td> <td>60代</td> <td>70代</td> <td>80代</td> <td>無回答</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>8.3%</td> <td>33.3%</td> <td>25.0%</td> <td>20.8%</td> <td>4.2%</td> <td>0.0%</td> <td>4.2%</td> <td>4.2%</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	男	女	計	7	17	24	29.2%	70.8%	100.0%	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	計	2	8	6	5	1	0	1	1	24	8.3%	33.3%	25.0%	20.8%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%	100.0%
男	女	計																																			
7	17	24																																			
29.2%	70.8%	100.0%																																			
20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	無回答	計																													
2	8	6	5	1	0	1	1	24																													
8.3%	33.3%	25.0%	20.8%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%	100.0%																													

(3) サービス種別

生活介護	居宅介護	共同生活援助	就労継続A	就労継続B	放課後児童デイ	その他	計
1	1	1	3	11	2	5	24
4.2%	4.2%	4.2%	12.5%	45.8%	8.3%	20.8%	100.0%

(4) 役職

代表者	サービス管理者	作業指導員	生活指導員	介助員	その他	無回答	計
3	2	6	6	1	5	1	24
12.5%	8.3%	25.0%	25.0%	4.2%	20.8%	4.2%	100.0%

(5) 勤続年数

1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答	計
5	5	3	6	1	4	24
20.8%	20.8%	12.5%	25.0%	4.2%	16.7%	100.0%

(6) グループワークについて

大変参考になった	参考になった	まあまあ	参考にならなかった	計
13	9	2	0	24
54.2%	37.5%	8.3%	0.0%	100.0%

「参考になった」が9割以上となっている。

(7) 古館主査の講話について

大変参考になった	参考になった	まあまあ	参考にならなかった	計
14	9	1	0	24
58.3%	37.5%	4.2%	0.0%	100.0%

「参考になった」が9割以上となっている。

(8) 今後自らが実践したい事

- ・ 利用者の目的や目標に合わせて接することが虐待防止につながるのではないか。
- ・ 利用者・職員との間で優しい会話ができるよう努めたい。
- ・ 怒りのコントロール
- ・ 障がい者という目で見ないで、怒りを我慢し、その方、その方をよく見て対応すること
- ・ 指導は怖くないものと教えていただいたので、記録は素直にありのままを書こうと思いました。
- ・ 種別の違う事業所でも虐待かも？と思うことの背景は共通していることが多いと感じました。
- ・ とても参考になりました。大変有意義な時間でした。

(9) 今後の参加意向

参加したい	参加しない	わからない	その他	計
21	1	1	1	24
87.5%	4.2%	4.2%	4.2%	100.0%

「参加したい」が8割以上となっており、その他には「他の職員を参加させたい」とのことであった。

	<p>(10)開催時期  ・ 9～11月 ・ 6月 ・ 7月 ・ いつでも</p> <p>(11)開催時間帯</p> <table border="1" data-bbox="311 436 762 566"> <thead> <tr> <th>午前</th> <th>午後</th> <th>夜</th> <th>無回答</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>12.5%</td> <td>54.2%</td> <td>4.2%</td> <td>29.2%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(12)自由記載欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンガーマネジメントの講習</li> <li>・ 就労継続支援事業所同士の情報交換</li> <li>・ 障がい福祉の基本、仕組み、流れ</li> <li>・ スペクトラム（アスペルガー）を持つ障がい者の対応などの研修会があるとよい。</li> <li>・ アンガーマネジメント</li> <li>・ 児童虐待について</li> <li>・ 事例に沿って、自分たちの事業所でどういた対処をするのか話し合ってみたい。</li> </ul>	午前	午後	夜	無回答	計	3	13	1	7	24	12.5%	54.2%	4.2%	29.2%	100.0%
午前	午後	夜	無回答	計												
3	13	1	7	24												
12.5%	54.2%	4.2%	29.2%	100.0%												
作 成 者	千歳市保健福祉部障がい者支援課 主事 石黒 奨															

平成 31 年度 第 2 回 手話言語条例推進専門部会 報告	
日 時	令和元年 11 月 1 日(金) 19:00～20:50
場 所	千歳市社会福祉協議会 2 階 2・3 会議室
参 加 者	千歳聴力障害者協会(佐藤会長(部会長))、千歳手話の会(神能会長)、千歳要約筆記の会やませみ(打矢代表) 北海道手話通訳問題研究会道央支部千歳・恵庭班(中村班長)、千歳身体障害者福祉協会(長助澤副会長)、千歳市社会福祉協議会(川北専従手話通訳)、千歳市障がい者総合支援センターChip(横山センター長(事務局次長))、障がい者支援課(甲木係長、佐藤係長) 手話言語条例推進委員会(長助澤部会長(ちとせの手話部会) 佐々木部会長(手話普及部会))
要 旨	<p><b>1. 手話言語条例推進委員会からの報告</b></p> <p><b>2. その他</b></p>
会議内容	<p><b>1. 手話言語条例推進委員会からの報告</b></p> <p>千歳聴力障害者協会が主体となり、手話関係団体と共同で開催している手話言語条例推進委員会の3部会から取組状況についての報告があり、意見交換した。</p> <p>(1)ちとせの手話部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千歳市内の地名、町名、観光地(道の駅、水族館、レラなど)の手話について検討しており、最終的にはパンフレットのような形でまとめたいたいと考えている。</li> <li>・千歳市民憲章の手話を録画したDVDを作成した。来週開催される千歳市社会福祉大会へ向け、登録手話通訳者に配布した。</li> <li>・作成したものを、どのように利用・活用し、手話を普及していくかが課題となっている。</li> </ul> <p>(2)手話普及部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関でどのような配慮が必要になるかをシミュレーションしたDVDを製作中。作成にあたって、市民病院に協力をお願いしたいと考えている。完成後は研修などで利用してもらえるよう医療機関に配布したい。</li> <li>・今後、市役所やハローワークなど公共機関での手続き等を想定したバージョンも制作する予定。</li> </ul> <p>(3)講座関係部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の福祉の授業で使用するテキストについて内容を検討している。今年度中に新しいテキストを完成させ、来年4月から使用したいと考えている。</li> <li>・テキストの作成が終わり次第、一般向けのテキストについても検討したい。</li> </ul> <p><b>2. その他</b></p> <p>(1)ろうあ者に対する相談支援について</p> <p>ろうあ者の中には困ったことがあるときにどこに相談すればいいかわからない者がいる。さらに、自分と同じようなろうあ者にしか相談したくないという人もおり、どのように相談に結びつけるかが課題となっている。</p> <p>ろうあ者相談員の設置も有効な手段の一つと考えられるが、今後の課題として共有し、引き続き部会で検討していくこととしたい。</p>
作成者	千歳市保健福祉部障がい者支援課障がい福祉係 甲木 心之介

令和元年度 第2回進路連絡会議 報告書	
日 時	令和元年11月25日(月) 13:30～15:30
場 所	千歳市総合福祉センター 402号室
参 加 者	千歳市内事業所(14事業所14名+2相談事業所4名=18名) 養護学校・高等養護学校(13校21名) 事務局(3名) 行政(1名) 参加者合計 43名
要 旨	1.令和元年度卒業生の進路状況 2.就労アセスメント進捗状況 3.在校生の進路希望と実習状況 4.情報交換会(課題共有・今後の連絡会の在り方について等)
会議内容	<p>1.令和元年度 卒業生の進路動向について</p> <p>各学校(7校)から令和1年度卒業生の進路動向について報告があった。 卒業生34名のうち22名が一般就労で福祉事業所が9名いる。内訳としては、生活介護2名、自立訓練1名、GH4名、宿泊型自立訓練1名、施設入所1名である。</p> <p>2.就労アセスメントについて</p> <p>4名中3名は終了しており、1名は18歳になってから実施する予定である。</p> <p>3.在校生の進路希望動向について</p> <p>各学校(10校)から在校生の進路希望及び小中学部の在籍状況について報告があった。</p> <p>4.情報交換会</p> <p>不登校について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校では、放課後等児童デイサービスと連携し、コミュニケーションのきっかけ作りをデイサービスで行い、登校に繋げていった例があげられた。</li> <li>・本人が思いを持って登校しないケースや、家族に危機感のない場合は解決に時間がかかる。高等支援学校では出席日数足りないと卒業に向けて検討が必要になるが、本人、家族の卒業したい意志あれば卒業は認められるケースは多い。</li> </ul> <p>事例としてあげられた話題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の財布から金盗る。</li> <li>・SNSでトラブルになるケース。</li> <li>・両親が障がい者である家庭の連携や支援について。</li> <li>・中途退学後も学校が支援を継続しているケース。</li> </ul> <p>○OGHの利用時に必要な経費について質問があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金(2級)と事業所(B型)があれば、その他に費用がなく利用開始できる事業所や、入居時に利用保証金10万円が必要で月の経費が8万円必要な事業所もある。</li> </ul> <p>進路連絡会議では進路=就労の形式で会議を継続してきたが、就労に限らず金銭管理や健康管理。生活の場の確保・ヘルパーの利用や余暇の過ごし方といった生活全般の課題についても話題にできる会議として継続していきたい。</p>
作 成 者	千歳市障がい者総合支援センターChip 横山 真紀